平成 27 年度水生生物のすみかづくり

ゴリの産卵床調査と整備

カワヨシノボリのすみか調べ

かつてゴリ（カワヨシノボリ）は，あめだき，吸い物，茶漬けなど京の味覚として名を馳せた食材であり，鴨川では竹石箕（いしみ）や鋤簾（じょれん）によるゴリ漁が行なわれていました．近年はゴリ漁をする人はあまり見かけなくなりましたが，現在もゴリの漁業権が設定されています．昨年，京の川の恵みを活かす会が調査したところ，鴨川には現在も漁の対象になる程度のゴリが生息していることがわかりました．しかし，ゴリの漁を復活させるためには，ゴリの増殖を促進することが不可欠です．かつては増殖の手段として滋賀県野洲川などで捕獲したゴリの放流が行なわれていましたが，繁殖のために琵琶湖に回遊するトウヨシノボリなどが混入し，在来のカワヨシボリと競合してしまうことも懸念されます．そこで，鴨川本来のカワヨシノボリを鴨川で殖やすために，鴨川のゴリの繁殖場所を探し出して，好適な産卵床の条件を鴨川に増やすための整備の方法を検討することにしました．

日時：　平成 27 年 7 月 12 日（日）10:00～13:00

場所：　出町柳駅前の賀茂大橋下流堰堤から出町柳川合橋上流堰堤までの区間

※集合場所は，出町柳三角州（高野川と賀茂川の合流点）

主催：　京の川の恵みを活かす会（略称：活かす会）

※活かす会は，学識者，漁協（賀茂川・京淀川・保津川），市民団体，行政（京都府・京都市）などの協働組織です．

参加：　当日自由参加　※小学生以下は大人同伴でご参加ください

内容：　**1）ゴリの産卵床調査**

賀茂大橋下流～出町柳川合橋上流区間で，ゴリの産卵床を探して産卵床の位置を河床地図に書き込む．産卵床の見つかった場所の水深・流速・底質などの環境条件を調べる．

2）ゴリの産卵床造成実験

砂州の陸上からゴリの産卵に適したサイズの石を，適切な場所条件の河床に搬入し，ゴリの産卵床を造成する．→一週間後と二週間後に造成場所で産卵床調査を行い，産卵床造成の効果を評価する．

準備：　濡れてもよい履物・服装・着替え・飲料水等は各自で持参してください

交通手段：公共交通機関でお越しください．自家用車の場合，出町柳の市営駐車場（有料）をご利用ください

当日中止の場合：　大雨や増水の場合は中止

※中止の場合は，当日の朝 8 時までに活かす会のホームページに掲示します．

問合わせ先：　活かす会事務局（京都大学防災研究所・水資源環境研究センター・社会生態環境研究領域内）TEL 0774-38-4253，FAX 0774-38-4036，携帯 090-8883-5980

e-mail: ikasukai.all@gmail.com URL: http://ikasukai.web.fc2.com/